

以前の避難訓練でもお話ししましたが、校長先生が実際に体験したことなので今年も皆さんにお話ししようと思います。今から18年前の朝方、何やら煙の臭い…外で誰かが叫んでいる声がしました。窓を開けると向かいのマンションの3階から、ものすごい白い煙が出ていました。「これは大変だ」と向かいのマンションに「誰かいますか？」と大声で叫びながら、無謀にも向かいのマンションに飛び込みました。煙の勢いが強く、意識がもうろうとして倒れてしまいました。しばらくして、意識がはっきりすると消防士さんが声をかけてくれていました。その日は念のため入院したのですが、鏡で見るとすすで真っ黒なだけでなく、何か所かやけどをしていました。鼻毛も焼けていました。お医者さんから、「無茶をされました。熱風を吸いこみ、食道や肺などにも熱風が入り、やけどのために腫れあがり、場合によっては死に至ることもあるんですよ。」と注意されました。

改めて「自分は大丈夫」は間違いやと思いました。皆さんは、火災で怖いのは煙と熱風だということを覚えておいてください。